

## 「リマウント調整のススメ ～フードテストによりわかる患者さんの変化～」

吹譯浩史

現在、日本は高齢化率が 28%を超える超高齢社会に突入しており、義歯の患者さんも益々増加傾向にあると言える。リマウント法を実践すると生涯において『よく噛めること』と全身の健康には深い関わりがあり、それは身体のみならず、心の健康にも繋がっていると言えることがわかってきた。今回はリマウント法と患者さんの変化、病院としての取り組みについて述べたいと思う。

## 「歯科医師から歯科技工士へ、歯科技工士から歯科医師へ ～W ライセンスから視える臨床とは～」

米光一裕

歯科医師と歯科技工士のコミュニケーション不足により作成された補綴は、治療へのトラブルにつながるが多々見られる。

仮に十分な形成や印象採得をチェアサイドで行えても、作り手に意図が伝わらなければ良好な結果につながらない。逆に十分な知識と技術を持った技工士が 100%の力で補綴を作製しても、結果が良いものへとつながるとは限らない。お互いの考えや知識の共有と方針が一致して、満足のいく結果につながるのではないだろうか？今回は技工士の目線、そして歯科医師の目線、互いの立場から話をしたいと思う。